

## 第4回手稲山口地域協議会

### <開催詳細>

- 日時 : 令和4年10月1日(土) 13:00～
- 場所 : 山口処理場管理棟会議室
- 参加者 : 手稲山口地区の住民等8名
- 事務局 : 札幌市新幹線推進室、鉄道・運輸機構
- オブザーバー : 札幌トンネル(星置)特定建設工事共同企業体(鹿島 JV)

### ■工事の現状と今後の見通しについて

#### <確認内容>

鉄道・運輸機構により、現在の工事状況と今後の工事予定について説明を行った。

#### <主なご意見>

- ・10月以降、掘削土搬入ダンプトラックが今後増えるとのことだが、国道337号に渋滞することはないか。  
→渋滞が発生しないよう、掘削土受入の現場敷地内の工事用道路を拡張しており、今後問題ないと考えている。
- ・水質モニタリングの結果で、一部ヒ素の基準値超過が認められたことに対して何か対策する予定はあるか。  
→掘削土受入地が基準値超過箇所よりも下流側に位置していることから、受入による影響ではなく地域特性に起因するものと判断している。そのため、今回の事象に対しての特段の対策は行わない。
- ・粉じん測定について、南東の風も含めて継続的にモニタリングの徹底をお願いしたい。  
→粉じん防止策の強化後、粉じん量は掘削土受入前と同等レベルに低減した。継続してモニタリングと粉じん対策を徹底していく。
- ・地盤改良工事はいつ頃まで続くか。  
→地盤改良工事は11月までで一旦休止となるが、来年の春から再開する予定。なお、遮水壁の設置工事は冬季も行う。
- ・騒音について、工事の音が大きいという声も寄せられている。  
→騒音が発生する工程は事前にお知らせするなど、コミュニケーションを徹底する。

### ■前回の協議会の議論を受けた報告事項等について

#### <確認内容>

札幌市新幹線推進室より、前回の協議会のご意見に関連する報告事項として、山口緑地パークゴルフ場西コースにおけるトイレ改修について、説明を行った。

#### <主なご意見>

- ・特になし

■前回の協議会の議論を受けた報告事項等について

<確認内容>

札幌市新幹線推進室より、北海道新幹線の札幌延伸に係る啓発活動の実施状況について報告を行った。

<主なご意見>

- ・特になし

■その他

<確認内容>

札幌市新幹線推進室より、札幌市議会での審議予定についての情報提供を行った。

<主なご意見>

- ・特になし

■今後の地域づくりについて

2つのグループに分かれて意見交換を行った。

① 地域づくりの方向性について

<主なご意見>

- ・北海道のゴルフ発祥の地でもある小樽カントリー倶楽部は 2028 年で創立 100 周年であり、国内有数の名門コースとして全国からプレイヤーも集まる。手稲山口地区の地域づくりについて、地元企業と地域が連携して取り組んでいく必要がある。
- ・将来の土地の活用について、交換の利便性からもトイレを含む休憩の場、風雪太鼓など地域活動の場、農産物の販売等の場として、道の駅のような文化や産業を支える拠点があると良いのでは。
- ・手稲山口地区における農業振興地域の今後のあり方についても検討してはどうか。地域を限定して部分的に指定を解除するなど、柔軟に対応していく必要があるのではないかと。
- ・ブランド野菜があるということは地域の強みであるが、後継者不足や肥料の高騰などにより、今後も守っていけるのかが心配である。
- ・地域づくりを誰がやるのか、誰が動くのか、実際の担い手をどうするかが1番の課題である。

② 受入地の活用方法について

<主なご意見>

- ・受入地は芝生等に使い方が限定されることもあり、スポーツの振興と健康づくりの場として、近隣の住民の皆さんのゴルフの練習や、子どものゴルフ教室などに活用するのが良いのではないかと。
- ・その際、指定管理のような形で、隣接する小樽カントリー倶楽部がメンテナンス等で協力していくことで、美観も良い場所にしていくのではないかと。
- ・小樽カントリー倶楽部の集客力を生かし、手稲山口地区の農産物を知ってもらう機会を作れるのではないかと。
- ・海が近く周囲に高い場所が無いが、16m の高さになるということなので、津波を想定した場合の避難場所として地域の防災に役立つ場所になるのではないかと。